

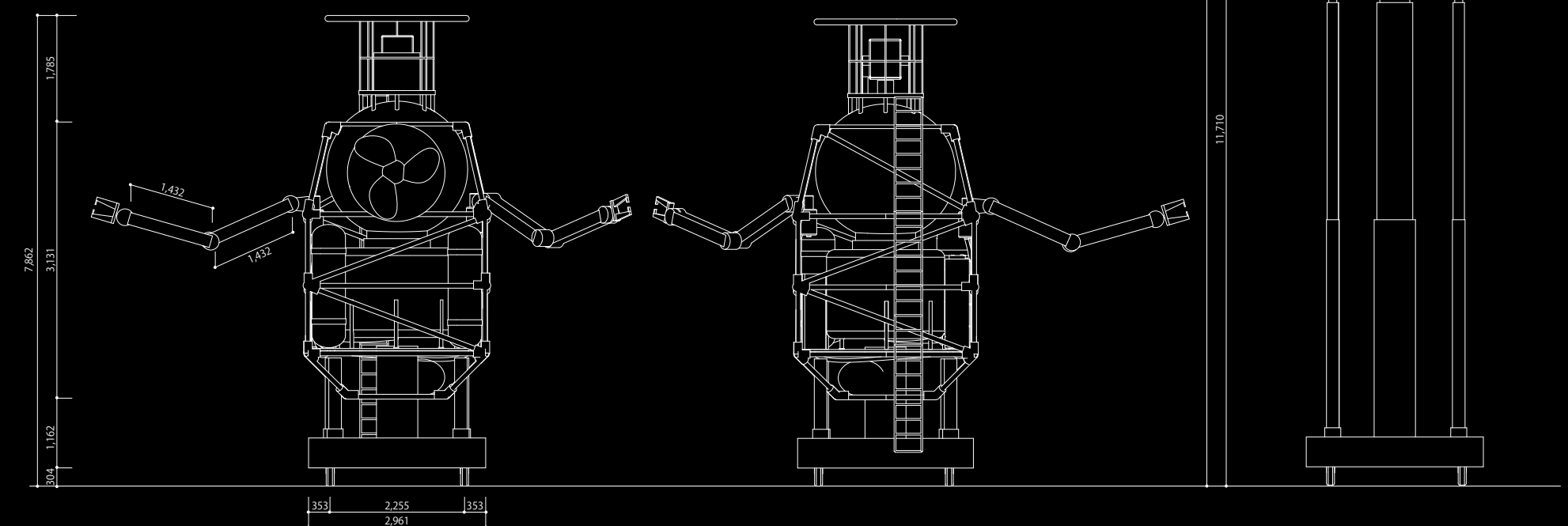
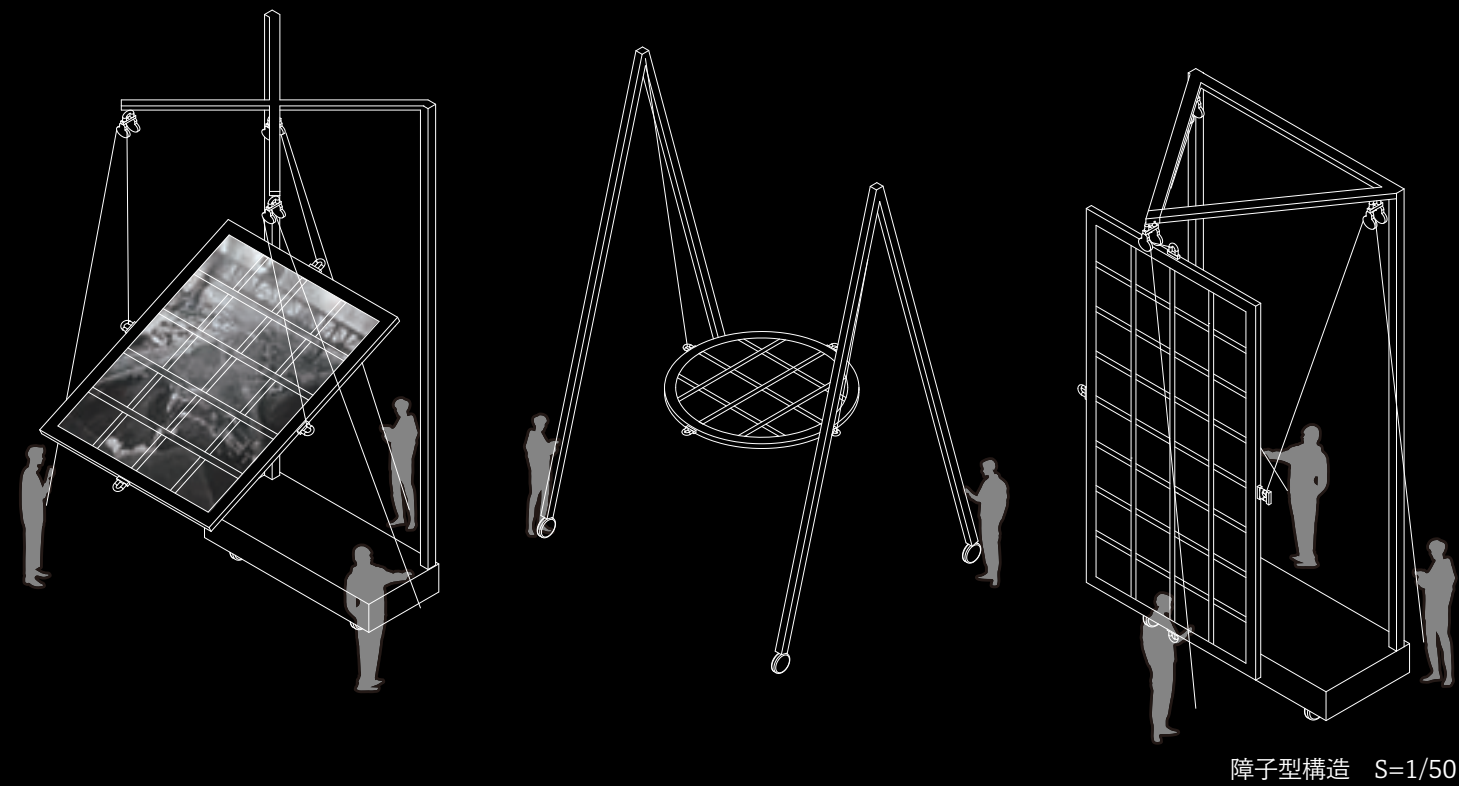
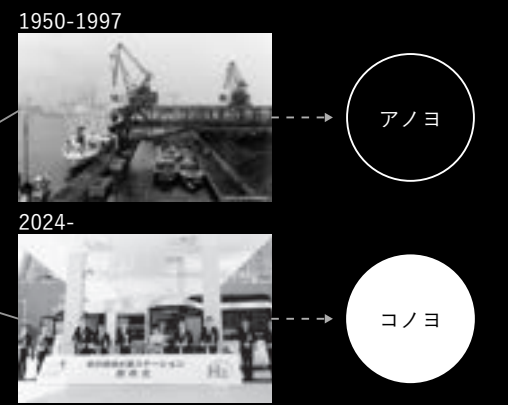
# ト キ ョ ー 湾 岸 今 昔 物 語 〈 エ ネ ル ギ ー 編 〉

東京都晴海では、私たちにとって希薄な「オリンピック・レガシー」を活かした街づくりが進められている。そのため本設計では、晴海の水素エネルギー活用の現在と、豊洲の石炭産業の過去を融合させ、「エネルギーの変遷」と「都市の起源」を新たな文脈として浮かび上がらせることを試みた。

そこで、日本の盆や能をモチーフに、豊洲をアノヨ、晴海をコノヨと見立て、石炭時代の亡霊＝「先祖」が一年に一度コノヨへ渡り、人々と交わる物語を提案した。「先祖」の役者として、石炭時代に蓄積された炭酸ガスを水素で再利用するロボットを設計した。舞台装置には、過去を象徴し即席で空間を作る障子型構造を 10 個配置し、物語の開幕と閉幕を演出するため、舞台装置安置所と広場付き水素ステーションも設計した。

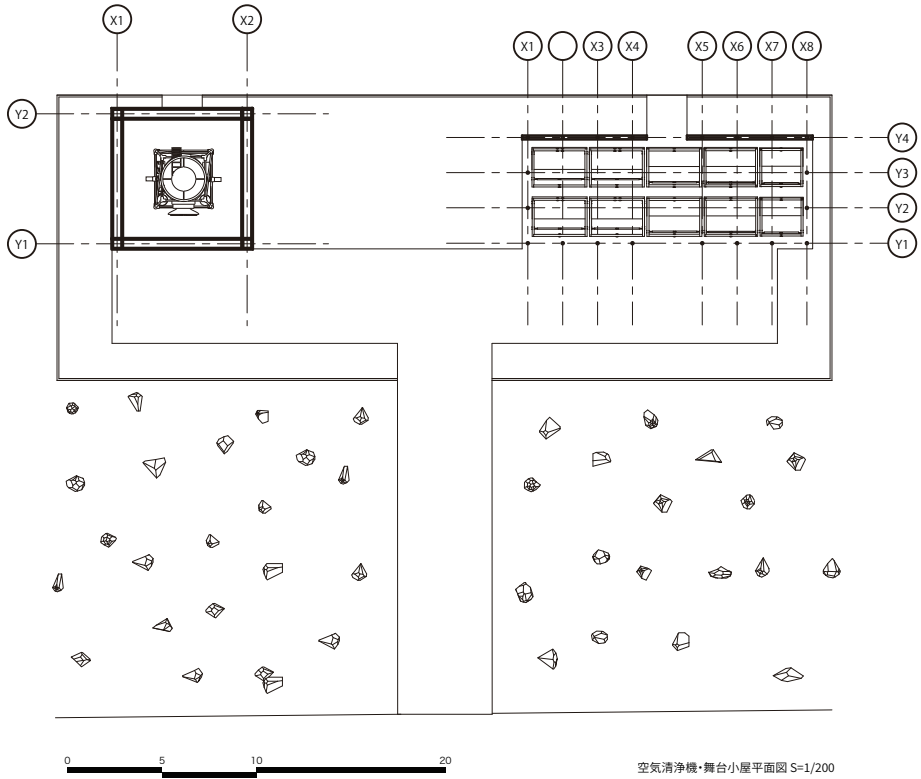
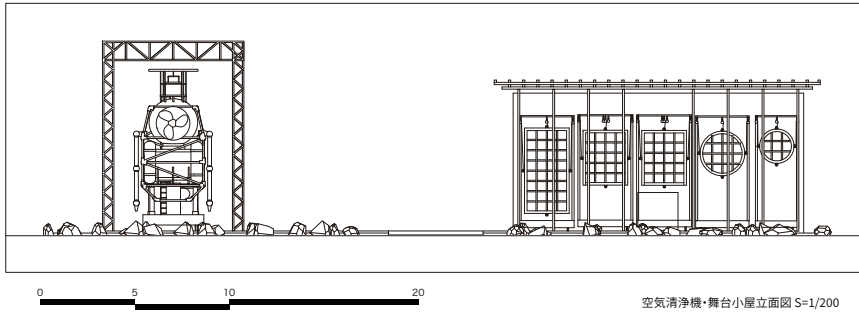
これらのロボットと障子が都市の中に演劇空間を生み出すことで、エネルギーや都市の過去と現在をつなぎ、この野外劇が毎年繰り返されることで未来へと繋げていきたい。

- 1 操縦席
- 2 はしご
- 3 DAC
- 4 二酸化炭素タンク
- 5 水素タンク
- 6 メタノールタンク
- 7 燃料電池
- 8 パワーコントロールユニット
- 9 モーター
- 10 演出用のアーム
- 11 垂直昇降型構造柱
- 12 垂直昇降型飾り柱
- 13 タイヤ用モーター入り基礎
- 14 タイヤ
- 15 本体用フレーム

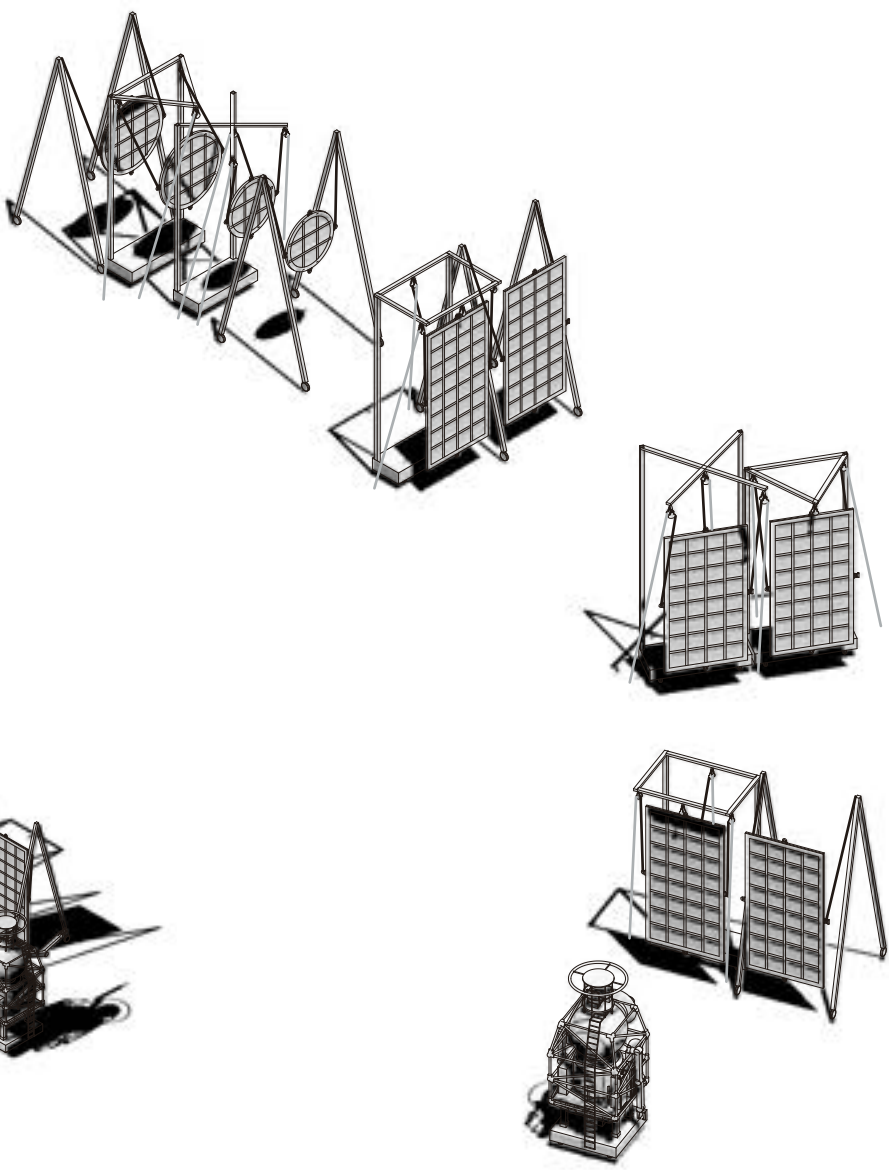
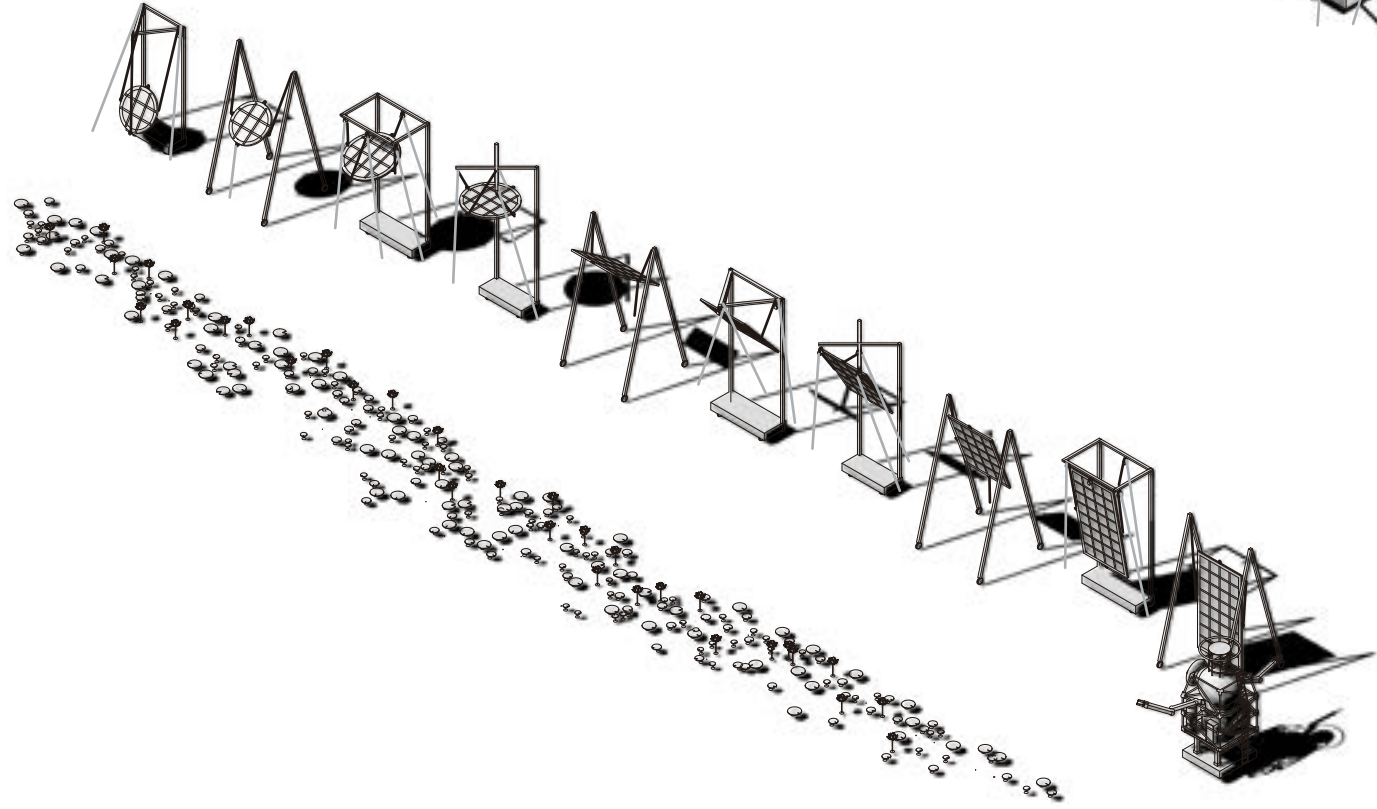


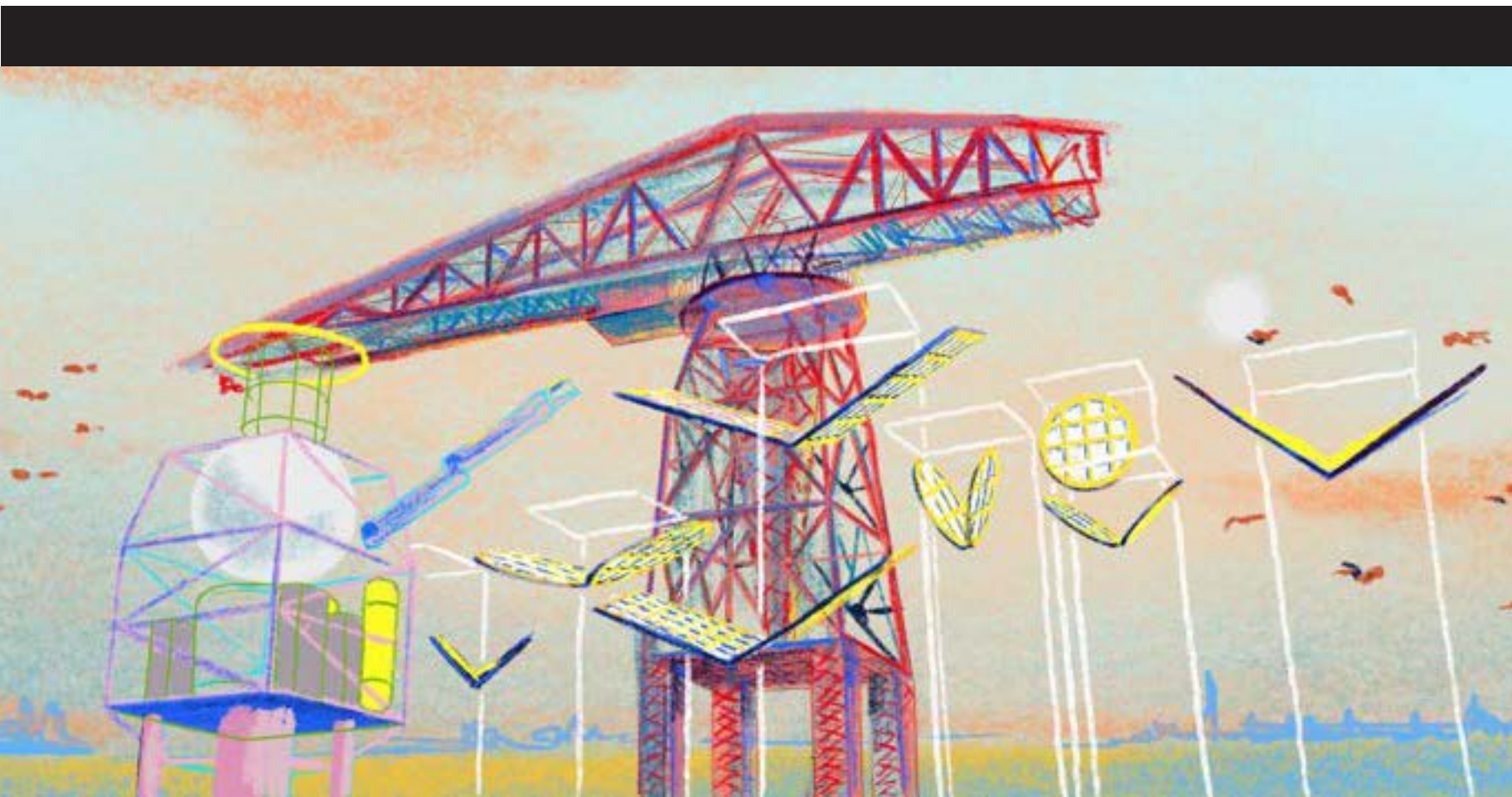
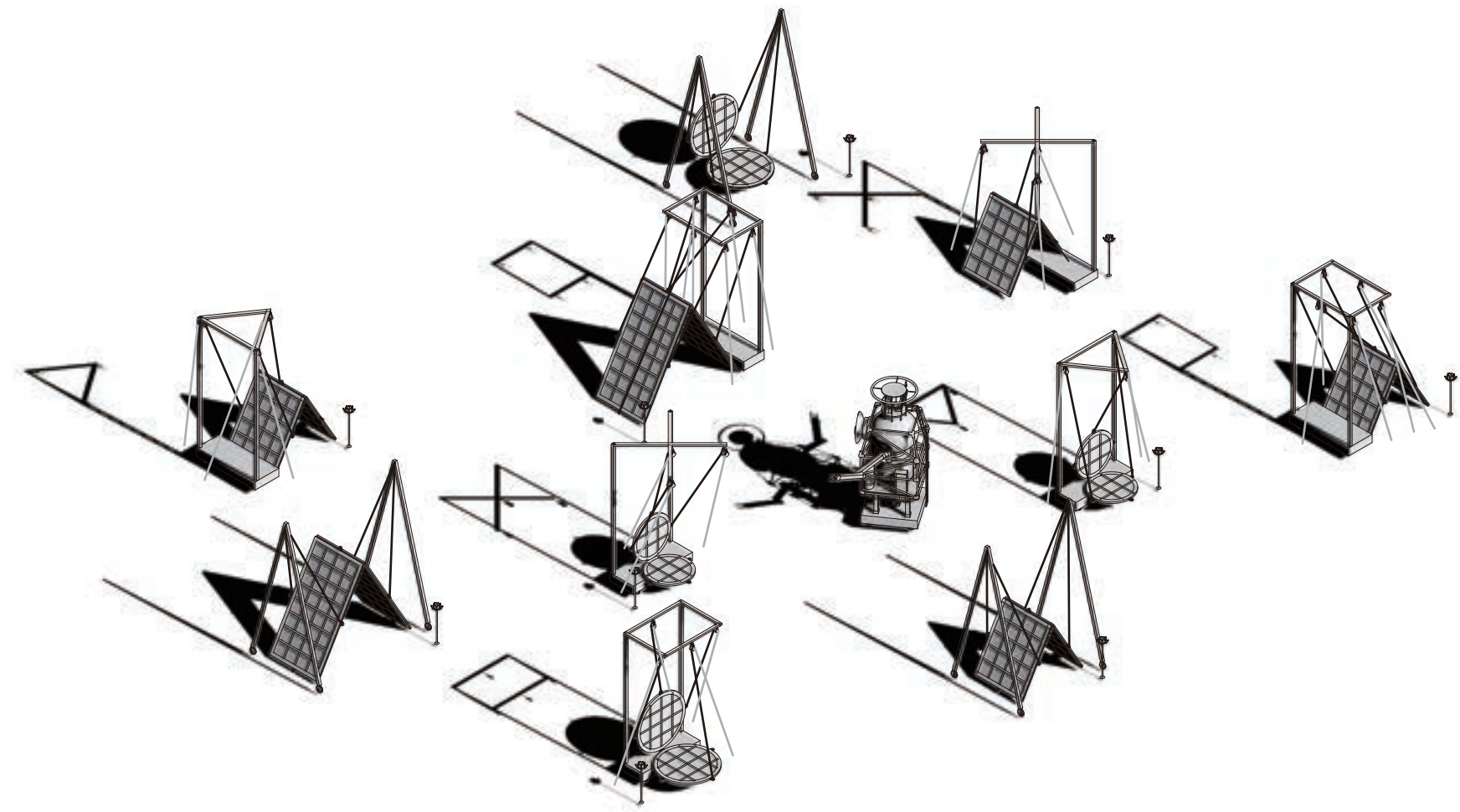
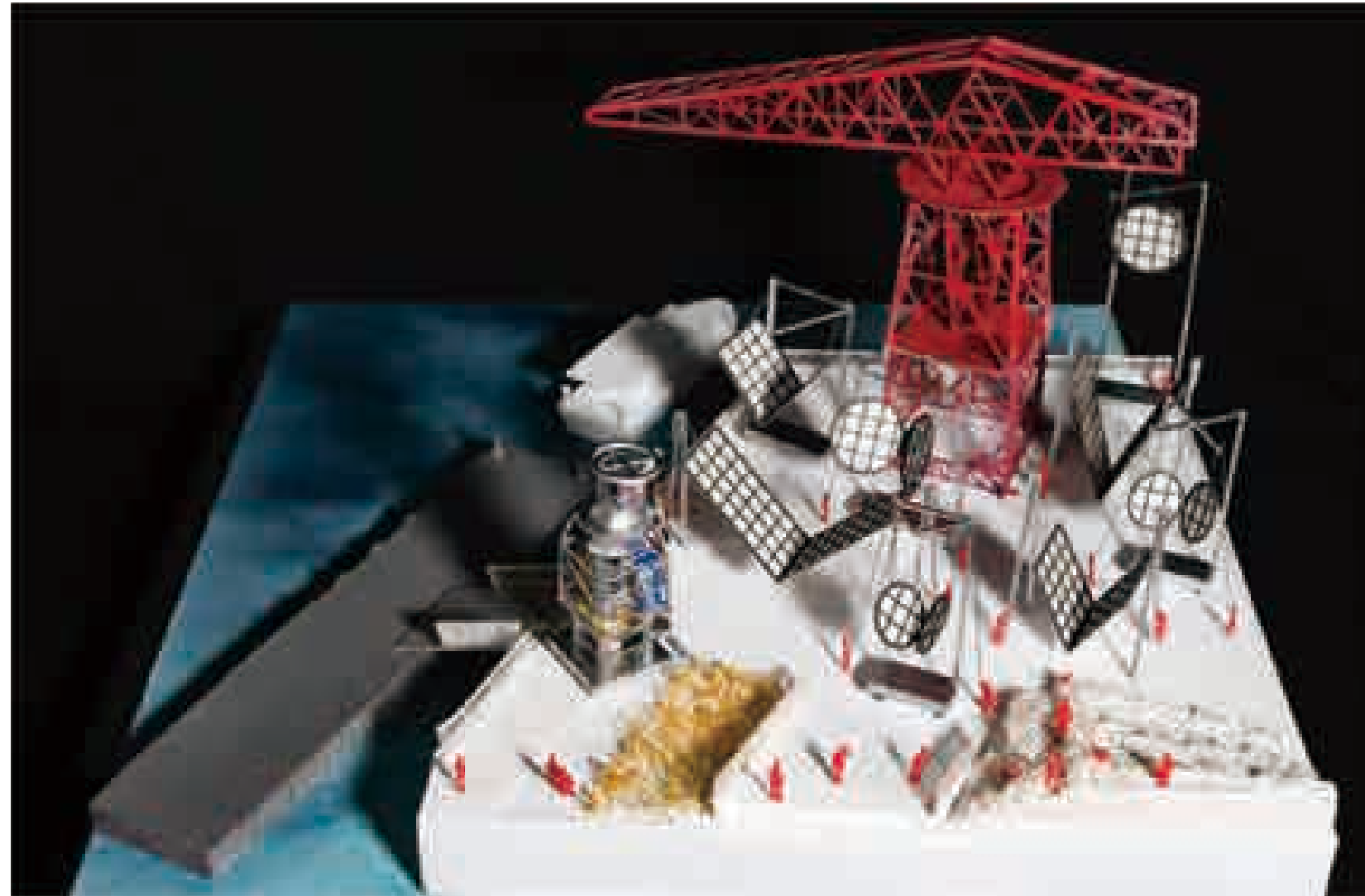
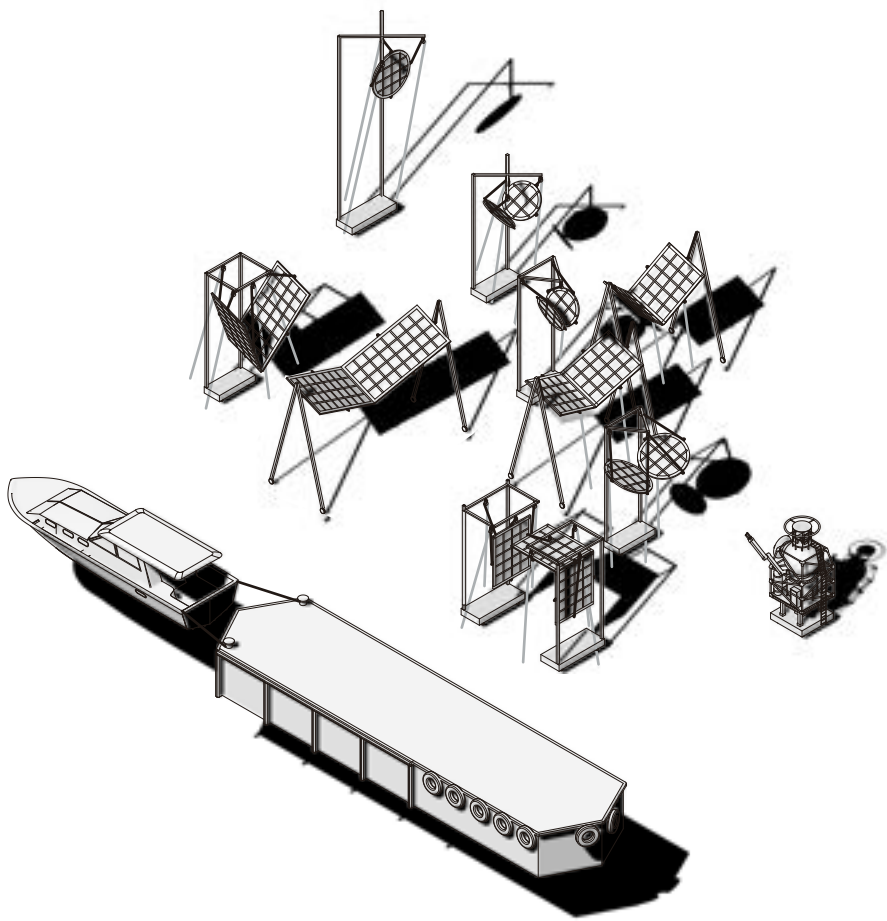
歩行型の大気中炭素固定装置 (DAC-U) S=1/50

第 1 幕：アノヨ SCENE1：開幕

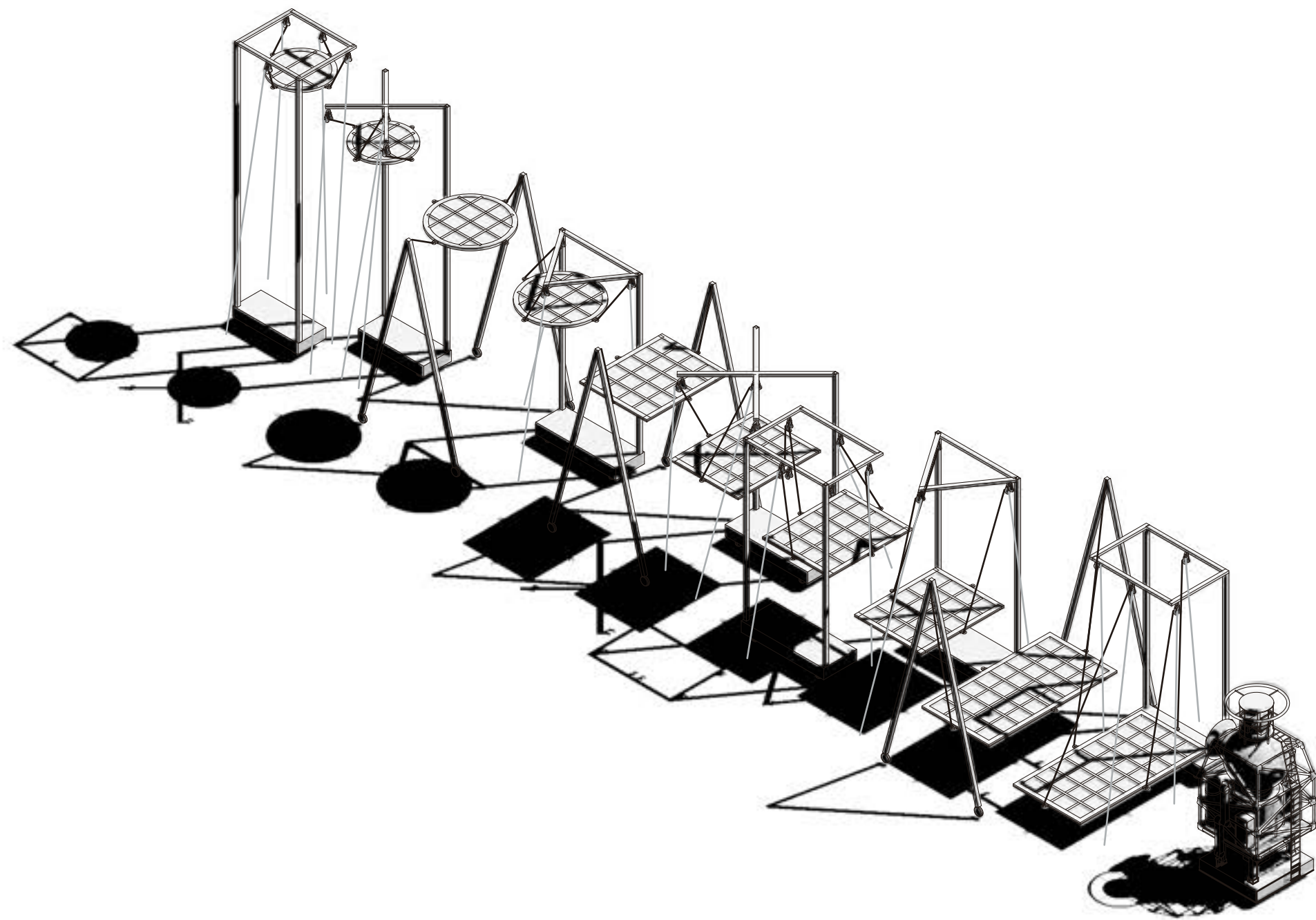


SCENE2 回想





SCENE 6 憧憬



SCENE 7 祝宴

